

蒲郡市市民総ぐるみ防災訓練アンケート結果

訓練名 蒲郡市市民総ぐるみ防災訓練

日時 令和3年11月7日（日）

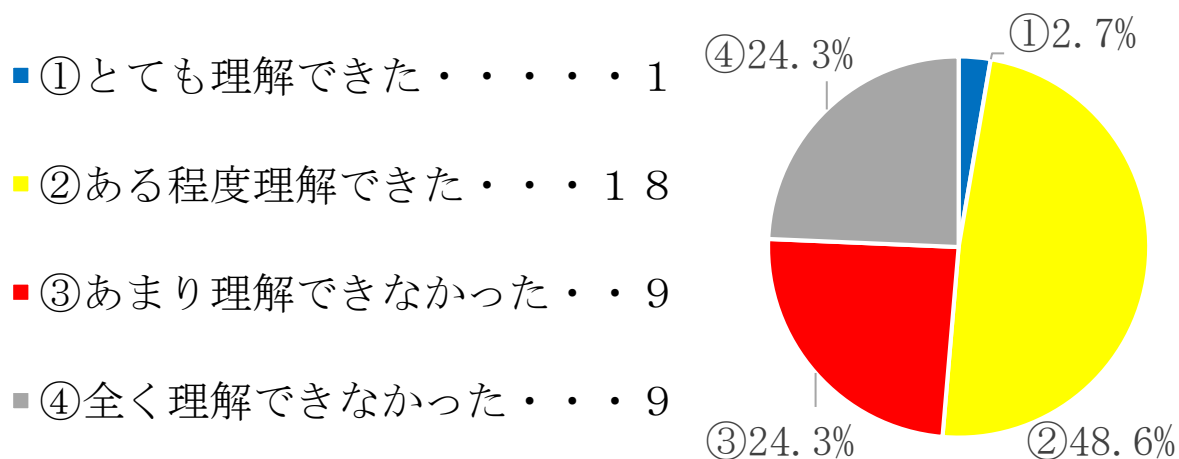
場所 指定避難所17箇所

訓練概要 地震発生時における、命を守る行動及び発災直後に必要となる、避難所の開設要領の習得を目的とする。

1 今回の避難所開設訓練の状況から、今発災したらどう思われますか



2 避難所開設訓練について



2で③、④と回答した理由

【組織】

①誰が責任者かわからない。

- ・自主防災会の役員は毎年交代するので次年度以降に訓練内容等を引き継ぐことが困難である。
- ・実際に避難所開設で何を準備しなければいけないのかわからない。
- ・発災した時にできるか少し不安がある。

【資器材】

②避難者登録票の用紙がわかりにくく、実際は受付が混乱すると思われる。

- ・避難者登録票の用紙などが準備されているか。
- ・リストバンドの意味がわからない。
- ・受付用紙は高齢者では書けない。

【訓練内容】

③避難所開設の手順がわかるように訓練して欲しい。

- ・受付で名前を書いて、防災品の状況を見ただけで、凡そ訓練とは言えない。
- ・体育館に集合して用紙に氏名等記入するのが訓練？
- ・何の指示もなく何をしてよいのかわからなかった。
- ・訓練実施箇所が多く、運営がずさんだったのではないか。
- ・現実には起こった場合は別にして、今回行った訓練自体は理解できた。
- ・今回は参加者が少なかったため問題なかったが、このような受付が出来るとは思えず、パニックが想定される。
- ・コロナ禍で初めての試みだったが、もっとできることがあったはず。
- ・進行している訓練が不明であった。
- ・開設訓練の説明が必要。
- ・実際には避難者を体育館へ入れることが大事で、その後地区ごとに避難者登録票を書いてもらうのがよいと思う。
- ・事前学習をしていないことにより理解を深めることができなかった。
- ・今回の受付方法では人が溢れてしまう。
- ・避難所開設の器具等がなく開設訓練ができなかった。

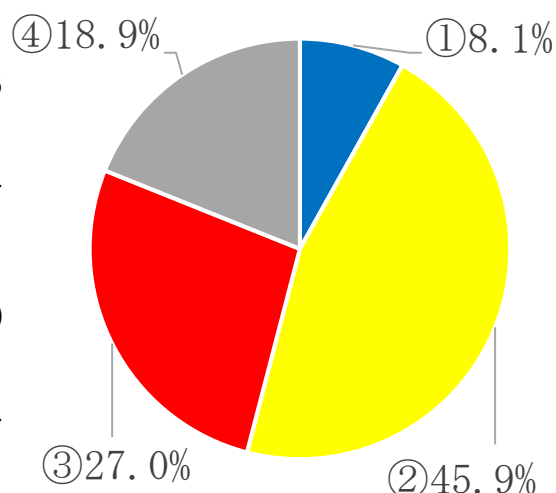
【その他】

④毎年継続して訓練することが必要。

- ・マニュアルの様に、スムーズに開設できるのか不安である。
- ・避難所に一度も行ったことがない。
- ・実体験をしていないから。
- ・災害は昼間だけに起きるとは限らない。

3 避難所開設担当職員との連携について

- ① しっかり連携できた・・・ 3
- ② ある程度連携できた・・・ 17
- ③ あまり連携できなかった・・・ 10
- ④ 全く連携できなかった・・・ 7



3で③、④と回答した理由

【自主防災会と避難所開設担当職員の連携について】

①開設担当者が誰かわからなかった。

②担当職員が少ない。

③担当職員と自主防災会役員との打ち合わせをして欲しい。

- ・登録票を渡されただけで連携等をできなかった。
- ・段取りが悪く、スムーズな訓練ではなかった。
- ・避難者への説明を担当者がやらなければ、避難所は混乱すると考える。
- ・職員がやるべきことを知っていて、避難者を巻き込んでいかなければ鳥合の衆の集まりになってしまう。
- ・避難所に入っても指示がないので動けない。
- ・どのように連携をとって活動するのか要領を得なかった。
- ・作業分担など、地区がやるべきこと、市役所担当者がかかわることなどが決まっていた方が良いと思われる。
- ・担当職員が、地域住民と協力して、話し合える訓練であって欲しい。
- ・事前の説明がなかった。
- ・人数を制限した中であっても受付に戸惑ったため、対応を検討する必要があると思われる。
- ・役員も年度で変わるから。
- ・職員からの的確な指示をして、依頼するなどした方が良い。
- ・参加者も担当職員も不慣れであるため。
- ・担当職員も初めてなので慣れが必要と思うが、ある程度できたと思う。
- ・実際はもっとあたふたすると思うので、繰り返しの訓練が必要だと思う。

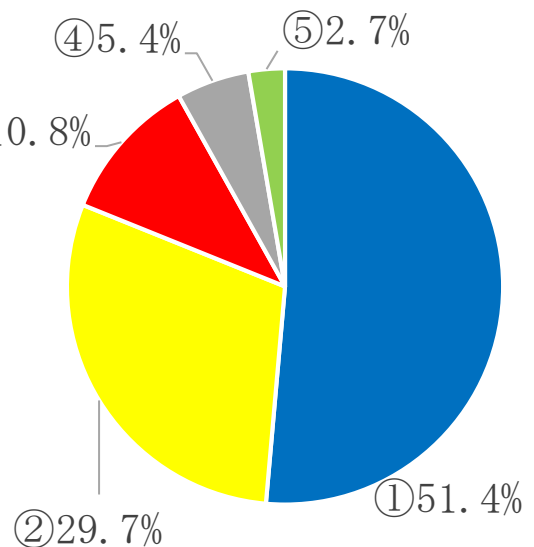
【職員の研修について】

④担当職員の事前研修が足らなかったと思う。

- ・開設職員も訓練の趣旨を理解していないのではないか。
- ・名簿のナンバリングが統一されていなかった。
- ・後から来た避難者が何をしたいのかわからず、塊ができてしまった。
- ・訓練計画を練って欲しい。
- ・担当職員もそれほど知識を持ち合わせていないが一生懸命対応していた。

4 自主防災会と避難所開設担当職員との合同訓練の実施について

- ①毎年実施した方がよい・19
- ②時々実施した方がよい・11
- ③自主防災会から依頼した場合のみ実施すればよい・・・4
- ④実施しなくてよい・・・2
- ⑤無回答・・・1



4で④と回答した理由

- ・市役所が何を考えているのかわからない。
- ・このレベルの職員では混乱を招くだけ。
- ・訓練意識が低すぎる。
- ・今日のレベルでは意味がない。
- ・市開設担当職員と自主防災会との連携がいまいちであった。

5 今回または今後の防災訓練においての、反省点または改善点や要望事項

【訓練内容について】

①コロナ禍に対応した設営を体験し、避難所の運営を検討するべき。

- ・避難所受付の重要性を認識した。
- ・人数を制限しての防災訓練は参考にならない。
- ・今後の状況をみて多人数で訓練が実施できるとよい。
- ・訓練内容は時間ごとに細分化して欲しい。
- ・災害伝言ダイヤルの説明をしっかりとって欲しい。

- ・訓練なので全員揃ってからスタートした方がよい。
- ・「シェイクアウト訓練」の言葉だけでは何なのかわからなかった。
- ・職員が開錠したのは良かったと思う。
- ・避難所運営ゲーム「HUG」ではできたことも、実際の開設訓練ではスムーズにできなかった。
- ・避難所開設の難しさを痛感した。
- ・災害が起きたら初動で何を行うのか示して欲しい。
- ・毎年資機材の取扱い訓練を実施しているので、避難所開設訓練は数年に一度でよい。

【資機材】

②防災倉庫の毛布の箱にシミがあったので中身の確認が必要。

- ・防災倉庫にある資機材を確認でき、説明してもらい有効であった。
- ・避難所設置訓練と聞いただけで、設置等は知らされておらず、テーブル等を探すのに時間がかかった。
- ・防災倉庫内の数量を扉に貼って明記して欲しい。
- ・マイクが欲しい。
- ・防災備蓄品が少なすぎるのではないか不安。
- ・資機材が充足されているのか不明である。
- ・蓄電池は小さいので、各学校にソーラーシステムの設置を望みたい。
- ・本部との連絡用無線が使えていなかった。

【組織】

- ・総代、市職員、公民館主事とで何とか受付準備をした。
- ・災害時には、自主防役員OBの名簿を残して人員を確保すると良いかも。
- ・指示する代表者を育成して欲しい。

【訓練の改善点】

③訓練の実施対象を常会などに狭めてもよいのでは。

④防災訓練は、避難以前の自宅でやるべきことを教える講習会的に行うべき。

⑤受付を簡略的にできる様式を考えなければいけない。

- ・発災時には、説明をする余裕がないので訓練の際に手順などを説明してもらいたい。
- ・実際に近い、緊張感のある訓練を実施して欲しい。
- ・避難訓練は毎年行い、問題点を次年度に生かすことが大事だと思う。
- ・以前の市民総ぐるみ防災訓練を再度やった方がよい。大きな防災訓練をやることで連帯意識や防災意識が高まると思う。
- ・避難所の受付がスムーズにできるよう工夫が必要（QRコードなど）。

- ・市の避難者登録票は落ち着いて来てから書くにはよいが、発生時では困難。

【その他】

⑥危機管理としての方向性が見えない訓練だった。

- ・開設担当職員の適切な指導に感心した。
- ・担当職員も何度も訓練すればスムーズに指揮できると思います。
- ・市長が見えたので熱心さを感じた。
- ・もっと大規模な災害に対する対処も準備しておきたい。
- ・事前に十分な打ち合わせを行う。

6 今後実施してみたい訓練内容等

①夜間の訓練を実施して欲しい。

②資機材の取扱い訓練を実施したい。

- ・避難所での区分け
- ・想定外の避難者が多数避難してきた場合の想定訓練
- ・各世帯の安否を把握する訓練を実施したい。
- ・発災時は、とにかく安全な場所へ逃げる、そのための訓練をしたいと思う。
- ・AED訓練を実施したい。
- ・宿泊型避難所体験をやってみたらよいと思う。
- ・炊き出し訓練を実施したい。

※下線は特に改善等が必要な意見

市民総ぐるみ防災訓練におけるアンケート結果に基づく 問題点、反省点それに伴う改善点及び方針

蒲郡市市民総ぐるみ防災訓練のアンケート結果から、特に改善等が必要なご意見を抽出し、市としての方針等を記載いたしましたので、今後の自主防災会の訓練等の参考にしていただければと思います。

1 避難所開設訓練について

【①誰が責任者かわからない】

避難所の開設・運営の責任者は、基本的には自主防災会の会長である総代、総代に事故のある場合は副総代という形になります。市役所の避難所開設担当職員は、開設の担当ではありますが、責任者ではありません。また同じ開設担当職員が、避難所の閉所まで運営に携わることはできません。市の職員は、避難所の開設・運営をサポートする立場でありますので、避難所へ避難してきた皆さんが、総代を中心として避難所を運営していただくこととなります。

【②避難所登録票の用紙がわかりにくく、実際は受付が混乱すると思われる】

現在各避難所に配布の「避難所利用者登録票」は、愛知県の同様式をもとに作成しています。今回の訓練において参加者の方々から、「文字が小さくて見えない」「記入する項目が多すぎる」などのご意見をいただきました。それらのご意見を踏まえ、記入用紙を修正し、受付がスムーズに行えるよう、訓練を重ね、いざという時のために備えます。

【③避難所開設の手順がわかるように訓練して欲しい】

各避難所によって受付場所の違い等の課題があるため、一律の手順書の作成ではなく、各避難所におけるマニュアルを作成したいと考えています。避難所施設管理者・自主防災会・避難所開設担当職員・危機管理課で協議・検討を行い、それに沿った訓練を実施し、さらなる検討を進め、スムーズな避難所開設につなげていきます。

【④毎年継続して訓練することが必要】

避難所の開設にあたり、受付業務はもっとも難しい部分だと考えています。今後の訓練につきましては、各避難所において避難者の動線の確保、受付の配置、資機材の取扱い訓練等を毎年継続して実施し、老若男女問わず自主防災会の訓練に参加していただき、防災意識の高揚と、知識の向上を図ります。

2 自主防災会と職員の連携について

【①開設担当職員が誰かわからなかった】

避難所開設担当職員は、今回の防災訓練では、背中に「蒲郡市」と書かれた紺色の防災服を着用していたと思われます。

今後は、自主防災会の避難所開設に関する訓練には、避難所開設担当職員も参加し、顔の見える関係を築いていきます。

【②担当職員が少ない】

避難所開設担当職員は、各避難所2名が任命されていますが、災害発生時には、担当者本人が被災者となっていることも考えられます。避難所の運営については、総代を中心として、自主防災会が主体となり、運営していただくこととなります。

【③担当職員と自主防災会役員との打ち合わせをして欲しい】

避難所開設担当職員と自主防災会役員との打ち合わせについては、年度初めに実施する「自主防災会リーダー研修」、各自主防災会の訓練に参加し、顔合わせ及び意見交換の場を設け、双方の認識を高めて行きたいと考えています。

【④担当職員の事前研修が足らなかったと思う】

今回の市民総ぐるみ防災訓練は、避難所の開設に主眼を置いて実施しました。避難所開設担当職員に対して十分な研修が行われていなかったことに対して、市として非常に反省しております。

今後は毎年、担当の避難所において、資機材の保管場所の確認、資機材の取扱訓練、避難所開設の要領を確認するなどの研修等を実施し、職員の防災意識の高揚と知識の向上を図ります。

3 今回または今後の防災訓練においての、反省点または改善点や要望事項

【①コロナ禍に対応した設営を体験し、避難所の運営を検討するべき】

今年度、新型コロナウイルス感染症対策として購入した備蓄品を活用し、避難所開設訓練を実施する予定でありましたが、新型コロナウイルスの状況を鑑み、二度に渡り、延期または中止となってしまいました。

来年度の「自主防災会リーダー研修」は、中学校区ごとに実施する予定です。なお、研修内容は、資機材の取扱訓練及び避難所運営等を考えています。

【②防災倉庫の毛布の箱にシミがあったので中身の確認が必要】

各避難所に設置の防災コンテナ内の備蓄品につきましては、早急に全てのコンテナ及び

内容物の整理、確認及び点検を行います。

【③訓練の実施対象を常会などに狭めてもよいのでは】

①で回答していますとおり、「自主防災会リーダー研修」を中学校区ごとに実施する予定です。

自主防災会で訓練を実施される際には、常会単位で行っていただいても結構です。その際には総代名で「防火防災訓練実施届」を必ず担当窓口（令和3年度中は消防署）へ提出してください。

【④防災訓練は、避難以前の自宅でやるべきことを教える講習会的に行うべき】

防災とは、災害を防止するということです。大規模災害が発生しても必ず避難所に来る必要はありません。災害に備え備蓄食料等を準備するなど、在宅避難を想定した対策を行うことも災害に備えた訓練となります。

【⑤受付を簡略的にできる様式を考えなければいけない】

避難所利用者登録票につきましては、わかりやすいものに修正します。また避難所ごとに受付の配置場所等も異なりますので、それぞれにマニュアルを作成する必要がありますので、今後の訓練をとおして、自主防災会と市が協力し、よりよい避難所運営体制を構築していきます。

【⑥危機管理としての方向性が見えない訓練だった】

今回の防災訓練は、新型コロナウイルス感染症対策として人数を制限し、今までとは異なる形式で、物資等の事前準備もない状態で、突発的に大規模災害が発生したという想定で訓練を実施しました。

担当課としましては、訓練を通じて、市、避難所担当職員及び自主防災会等の参加されたほとんどの皆さんが、「避難所開設」の難しさや重要性を認識していなかったことが、確認できたことが最大の成果だったと感じています。

今回の訓練から、様々なご意見等をいただきましたので、反省すべき点は反省し、改善すべきところは早急に改善します。

4 今後実施してみたい訓練内容等

【①夜間の訓練を実施して欲しい】

夜間の訓練につきましては、実施していただいても結構ですが、実施に際しては事故のないよう細心の注意を払ってください。

【②資機材の取扱い訓練を実施したい】

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえまして、「自主防災会リーダー研修」で資機材の取扱訓練を実施し、各隊の訓練においても、資機材の取扱訓練を実施していただく方針です。併せて避難所開設担当職員に対しても、資機材の取扱の研修を実施します。